

皮膚科学

責任者名：米原 啓之

学期：前期

対象学年：5年

授業形式等：講義

◆担当教員

米原 啓之(口腔外科学Ⅱ 教授)

藤田 英樹(隣接医学 兼任講師)

葉山 惟大(隣接医学 兼任講師)

松浦 大輔(隣接医学 兼任講師)

◆一般目標 (GIO)

皮膚病変と口腔内病変は、臨床的に密接な関連を持ち、口腔内病変は皮膚疾患の診断に重要な位置をしめる。皮膚科学の総論と各論について、口腔内病変に関連を持つ事項を中心に、皮膚科学の基礎を理解する。

◆到達目標 (SBOs)

歯科診療を行うために必要な皮膚科的な知識を身につけ歯科診療を行うことができる。

◆評価方法

隣接医学Ⅲ各7教科(小児科学・耳鼻咽喉科学・皮膚科学・泌尿器科学・眼科学・産婦人科学・精神・神経科学)の各問題を一つの試験としてまとめ、定期試験を実施する。定期試験(100%)により評価する。

◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	メールアドレス・連絡先	備考
米原 啓之	月曜日～金曜日 17:00～18:00 口腔外科Ⅱ・臨床医学講座教授室		

◆授業の方法

授業は教科書、PC、黒板を用いて行う。平常テストを行う場合があり、この平常テスト後にフィードバックを行う。

◆教材(教科書、参考図書、プリント等)

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
教科書	隣接医学Ⅲ(PDFファイル配付)		日本大学歯学部	
参考書	あたらしい皮膚科学	清水宏	中山書店	

◆DP・CP

DP4

コンピテンス：問題発見・解決力

コンピテンシー：自ら問題を発見し、その解決に必要な基本的歯科医学・医療の知識とスキルを修得できる。

DP5

コンピテンス：挑戦力

コンピテンシー：新たな課題の解決策を見出すために、基礎・臨床・社会医学等の知識を基に積極的に挑戦し続けることができる。

DP6

コンピテンス：コミュニケーション力

コンピテンシー：医療をはじめとする様々な場面において、他者との円滑な意思の疎通を行い、互いに価値観を共有し、適切なコミュニケーションを実践して自らの考えを発信することができる。

DP7

コンピテンス：リーダーシップ・協働力

コンピテンシー：患者を中心としたチーム医療において、責任ある医療を実践するためのリーダーシップと協働力を養うことができる。

CP3

幅広い教養と歯科医療に必要な体系的な知識を基に、論理的・批判的思考力と総合的な判断能力を育成する。

CP4

歯科医学の基礎知識を体系的に修得し、臨床的な視点で問題を解決する力を養成する。

CP7

歯科医師の責務を自覚して、責任あるリーダーシップを発揮し、患者を中心としたチーム医療における適切なコミュニケーション能力を養成する。

◆準備学習(予習・復習)

必ず事前に教科書を読んで、授業内容の目的を理解しておくこと。

◆準備学習時間

各々授業時間相当を充てて予習と復習を行うこと。

◆全学年を通しての関連教科

隣接医学 I, II

口腔外科手術時の患者管理

口腔診断学・有病者歯科学

◆予定表

回	クラス	月日	時限	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
1		5.12	6	1. 皮膚の構造と機能 発疹学・皮膚科症候学	・皮膚の解剖と生理の基礎について説明できる。 ・原発疹，続発疹を中心とした発疹の診かたについて説明できる。	藤田 英樹	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識

2		5.19	6	2. 皮膚科診断学 ～診断に必要な基本的検査～	・皮膚疾患の診断に必要な基本的な検査方法を説明できる。	藤田 英樹	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
3		5.26	6	3. 真菌感染症・ 性感染症	・皮膚症状の出現する真菌感染症・ 性感染症について説明できる。	藤田 英樹	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
4		6.2	6	4. 細菌性皮膚疾患・ 節足動物による皮膚疾患	・細菌性皮膚疾患・節足動物による 皮膚疾患について説明できる。	松浦 大輔	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
5		6.9	6	5. 蕁麻疹・痒 疹・紅斑症	・蕁麻疹, 痒疹, 紅斑症について具 体的に述べることができる。	葉山 惟大	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
6		6.16	6	6. 薬物アレルギー ・炎症性角化症	・薬疹の検査, 診断, 治療について 説明できる。 ・乾癬, 扁平苔癬について説明でき る。	葉山 惟大	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
7		7.14	6	7. ウィルス感染症 ・抗酸菌感染症	・皮膚科領域におけるウィルス感染 症, 抗酸菌感染症について具体的に 説明できる。	松浦 大輔	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
8		7.21	6	8. 物理的・化学的 皮膚障害・光線と 皮膚	・物理的・化学的皮膚障害, 光線の皮 膚におよぼす影響を説明できる。 ・皮膚疾患のレーザー治療の基本事 項を説明できる。	松浦 大輔	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
9		7.28	6	9. 湿疹・皮膚炎 群	・接触皮膚炎, 金属アレルギー, ア トピー性皮膚炎について, その検 査, 診断, 治療を説明できる。	葉山 惟大	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
10		8.4	6	10. 水疱症・膿疱 症・色素異常症	・天疱瘡や掌蹠膿疱症の病態や治療 について説明できる。 ・色素異常をきたす疾患を列挙し説	藤田 英樹	E-6 医師と連携するために必要な医学的

					明できる。		知識
--	--	--	--	--	-------	--	----

